

謹賀 新年

寅



医療法人社団 海仁
理事長 海谷 忠良

あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、自粛生活を余儀なくされるなど気持ちの落ち込むことの多い一年でした。現時点では感染者数も減少していますが、新たな変異株が国内でも確認され、終息にはまだ時間がかかると思われます。私達は油断せずこの困難を乗り越えていかなければなりません。

今年の干支である「寅」に象徴されるように、力強い行動力で落ち込んだ気持ちを吹き飛ばして、明るい一年となりますよう祈念しております。



昨年、私は以前より痛めていた脚の手術のため3ヶ月近くの療養をいたしました。皆様には受診日の調整をしていただくなど、大変お手数をおかけいたしました。謹んでお詫び申し上げます。おかげさまで現在は通常診察を再開しております。

これだけの長期療養は、75年の人生で初めてであり、正直申し上げますと強い不安や戸惑いがございました。そのような中、患者様からいただいた温かい励ましのお言葉は私の心の支えとなりました。大変感謝しております。

これからも、患者様に最大限貢献すべく眼科診療に邁進していきたいと、決意を新たにしております。



Eye Reborn (アイリボーン)

海仁グループの 新たなるサービスの構築

海仁グループでは、当初より「患者様を主体に、海仁の心をもって、患者様のQOV（視力の質）を高め、QOL（人生の質）の向上に貢献する」という理念を掲げて医療提供をしてまいりました。

そしてこの度、今までの理念を受け継ぎ、新たな取り組みに挑戦し、患者様にとってより良い眼科・組織へ進化するという想いで「Eye Reborn (アイリボーン) プロジェクト」を立ち上げ、本年より本格的に始動してまいります。

当グループの長年の課題となっている待ち時間の問題も、顕著な改善に至っておりません。患者様に大きな負担をおかけしており職員一同猛省しております。そこで海谷眼科では待ち時間を有効に使っていただく為に、携帯電話にメールで診察のお呼び出しするという、これまでになかったサービス等を導入する予定です。

総合眼科として最適な治療のご提供、利便性向上はもちろんのこと、患者様がより豊かな人生を送っていただけますよう、必ずこのプロジェクトを実現してまいります。



①「待ち時間」に対する 改善の実施

【診察室での予約取得体制】

次回の予約を、診察時に医師同席のもと決定する事で、安心してスムーズな診療の流れを構築します。



※海谷眼科のみ

【診診連携体制の強化】

「ご紹介元の眼科様」や「かかりつけ医の先生」と密接に連携し、患者様に最適な医療を提供できるよう努めてまいります。



【検査と診察の分散予約化】

検査と診察の来院日をこれまで以上に分散させていただくことで、院内での滞在時間を短くし、患者様のご負担軽減を目指してまいります。



【患者様お知らせサービス】

診察30分前に患者様の携帯電話にメールでお呼び出しします。待合室での密回避や、待ち時間の有効活用ができます。



※海谷眼科のみ

🌸 Eye Reborn 3つのポイント 🌸

- ①「待ち時間」に対する改善の実施
- ②視覚リハビリの実践
- ③専門的技術の追求・研究



②視覚リハビリの実践

これまでの医師による眼の治療や、残存視機能を生かす補助具の選定だけでなく、患者様が障害を受け入れ克服するための心理的サポート、より豊かな人生を送れるような視覚リハビリを提供してまいります。

私はパラリンピック選手のお話を伺ったり、視覚障害を克服した患者様を多く見てきましたが、生きがいや趣味が障害克服の大きな原動力となると実感しています。一人ひとりの人生に寄り添い、ともに生きがいを見つけ、ともに歩んでいきたいと考えております。

海谷眼科では、今年、施設内を改装し、「視覚リハビリ」を行える環境を構築し実践します。



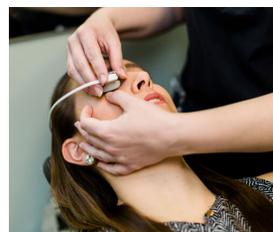
海仁グループはブラインドサッカーチーム「FC コレチーボ静岡」を応援しております。視覚障害のある方々の活躍の場が、少しでも多く広がっていくようスポンサーとして支援を継続してまいります。

③専門的技術の追求・研究

専門外来体制を強化し、患者毎の疾患を考慮したより専門的な診察体制を構築いたします。

専門 疾患	
白内障(多焦点眼内レンズ)	緑内障
網膜硝子体疾患	糖尿病、糖尿病網膜症
斜視、弱視(小児)	角膜疾患

海谷眼科では、ドライアイ等でお困りの患者様に最新機器によるマイボーム腺治療やオルソケラトロジーレンズ(角膜矯正用コンタクトレンズ)をご提供させていただく予定です。



その他、海谷眼科では眼科診療専用の往診車を用意し、眼科無医地区へ往診・訪問診療をスムーズにできる体制構築を考えております。

実現には困難がつきものですが改善を重ね、患者様に最高の医療サービスをご提供できるよう尽力してまいります。

白内障手術を受けて

私の顔を見て今までと何か違うなどお気づきの方もいらっしゃるかもしれませんが、最近では眼鏡をかけておりません。実は、年には勝てず白内障で眩しさを感じることもあり、昨年8月に白内障手術を受けたのです。

眼内レンズは皆様にもお勧めしている3焦点眼内レンズを挿入しました。今では眼鏡要らずの生活です。眼内レンズの質も良く、術後の眩しさやぼやけるという症状も無く非常に快適です。*

私は数多くの白内障手術を執刀しておりますが、さらに多くの患者様に喜んでいただけるよう、より一層努めていきたいと思っております。

※術後の見え方、眼鏡の使用頻度には個人差がございます。

PanOptix®(パンオプティクス)



2019年に日本で初めて承認された3焦点眼内レンズです。遠方・近方に加え中間にもピントが合うため眼鏡依存を軽減することができます。
▷乱視の矯正も可能です。
▷選定療養の対象となります。

結果を出せる年に

今年は、海仁グループは変わってきたな、良くなってきたなという風に感じていただけるよう『Eye Rebornプロジェクト』を推進し、結果の出せる年になるよう全身全霊をかけて努力してまいります。

皆様からのご意見、叱咤激励をお待ちしております。

私達はそのお声をしっかりと受け止め改善し、新しい道を切り開いていきたいと思っておりますので、本年もよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様の健康と幸せ、世界の平和を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

4



YouTube 海谷眼科チャンネル

右のQRコードをスマートフォンで読み取っていただくと「新年のご挨拶」動画をご覧いただけます。



発行元

医療法人社団 海仁

海仁グループ

検索

